

FANCL

株式会社 ファンケル

Communication on Progress

2015 年度

対象期間: 2015 年 4 月～2016 年 3 月

担当者連絡先

株式会社ファンケル 社長室 CSR 推進事務局 小倉 悦子

E-mail etogura@fancl.co.jp

Tel 045-226-1943 Fax 045-226-1203

トップステイメント

ファンケルは、世の中の「不」のつく事柄の解消を目指し、常に実直な経営のもと、高い透明性をもって事業活動をしています。

CSR 活動を、長年積極的に取り組んでいるファンケルは、2015 年、2016 年と 2 年連続、モーニングスターの社会的責任投資株価指数 (MS-SRI) の 150 社に選定されています。

特に 2015 年度は、女性が活躍できる職場環境の整備及び、ワークライフバランスの外部へのムーブメントを積極的に行いました。

具体的には、神奈川県に本社を置く弊社が、黒岩神奈川県知事の下、代表取締役社長の私が、「かながわ女性の活躍応援団」の団員として、外部のシンポジウムに参加や、ワークライフバランスを実践している管理職の女性を、メディアに紹介する活動を行いました。

そして弊社が創業当初からの女性活動と成果が評価され、「平成 27 年度 女性が輝く先進企業内閣府特命担当大臣賞」を受賞しました。

2016 年度は、資源循環(リサイクル)、CO2や廃棄物の削減等、環境への取り組みを強化すると共にまた国連があらたに提唱している 17 個の持続可能な開発目標(SDGs)を考慮し、取引先をまきこんだ CSR 調達の方針策定など、ファンケルができることを1つ1つ取り組んでまいります。

宮島 和美

署名

宮島 和美 (Kazuyoshi Miyajima)

代表取締役 社長執行役員

(President and Representative Director)

2016 年 3 月 31 日

「人権」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標	
(1) 人権	1	<p>・日時:2015 年 5 月 14 日</p> <p>・テーマ:新入社員研修</p> <p>・内容:国連グローバル・コンパクト概要説明及びグループワーク(企業の不祥事時社長謝罪コメントを考えて発表)</p> <p>・講師:グローバル・コンパクト・ジャパン事務局長 八尋 英昭氏</p> <p>・対象:新入社員 31 名</p>	<p>・社会人 1 年目の企業の責任、心構えなどの人間形成に非常に効果的な研修として、教育担当部門からも高評価。</p> <p>・人権問題が身近な課題であり、業務上、自らが人権を意識しながら取り組むことを学んだ</p>	<p>2016 年度の新入社員に実施。 (日時:2016 年 5 月 10 日)</p> <p>新入社員 25 名を対象に、グローバル・コンパクト・ジャパン事務局次長 上野 明子氏を講師に迎え実施予定</p>
	2	<p>・日時:2015 年 5 月 15 日～10 月 3 日 「第 6 回 GSR 学生アイデアコンテスト」へ協力 キックオフミーティングからコンテスト当日までの学生(静岡県立大学 国保研究室、慶應義塾大学 梅津ゼミの 2 校)へのアドバイスを CSR 推進事務局で担当</p> <p>・内容 学生が企業と共に考える GSR(Global Social Responsibility)地球規模での負の解消(貧困、環境問題などを企業の力で解決するアイデアを競うコンテスト。全国から選抜された大学が参加企業から選んだ 2 社のリソースを組み合わせ、地球規模の課題を解決する事業プランを提案する。</p>	<p>静岡県立大学 最優秀賞受賞</p> <p>【受賞内容】 「インドの栄養改善プログラム」 死亡率の高い乳幼児を救うために、薬効成分を、持つハーブ「モリンガ」を栽培し、その収益で貧困層(農村)の生活や教育水準を上げるプロジェクト</p>	<p>GSR が中止</p>

(2) フェアトレード 生産国への 人権支援 (寄付)		<p>弊社は、以下の 2 校 2 社と協働</p> <p>① 静岡県立大学 × 全日本空輸(株) × FANCL</p> <p>② 慶應義塾大学 × 味の素(株) × FANCL</p>		
	3	<p>・日時:2015 年 11 月 18 日</p> <p>・講師:特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター 佐塚 玲子氏</p> <p>・テーマ:介護の「わからない」を「わかる」に変える! ~介護問題についての 漠然とした不安を解消し、将来への 心構えを~</p> <p>・対象:本社従業員 56 名</p>	<p>介護と仕事の両立や男性が介護をする場合など、さまざまな介護保険制度の説明を交えながら、現状と将来への準備としての情報を啓発することが出来た。</p>	<p>数回にわたり、従業員向けの介護のワークショップを行う予定。</p>
	1	<p>・商品:フェアトレードフーズ (2013 年から発売) 塩=うまみ塩(インドネシア) あまみ塩(ラオス)、 さんみ塩(セネガル) 胡椒=完熟粒胡椒(カンボジア)</p> <p>・寄付活動:2015 年度の売上の 5%を、 各国で支援活動をしている団体へ寄付</p>	<p>同製品の原料を調達している各国の児童支援活動をする ことで、お客様への企業姿勢への 理解を推進できた。</p> <p>【寄付団体】</p> <p>①一般社団法人あいあいネット</p> <p>②NPO 法人ラオスのこども</p> <p>③バオバブの会</p> <p>③ NPO 法人かものはしプロジェクト</p> <p>・寄付金額:各団体 ¥21,283 計 ¥85,132</p>	<p>現在の在庫をもって、商品販売は 終了予定。</p> <p>売上の一部を現地の子どもたちの 教育(児童労働防止)のために、 寄付を実施してきたが、今後は別の 方法で支援検討予定。</p>

	2	<p>・商品:ファンケル創立35周年 ANNIVERSARY企画 美容ショコラ「ショコラ プー・ラ・ボーテ」 数量限定販売 価格:1箱 ¥2,300(税込) 2箱¥4,370(税込)</p>	<p>【寄付団体】 特定非営利活動法人 ACE ・寄付金額総額¥4,003,133 内訳 ・チョコレート売上 ¥203,133 円 (税 抜) ・従業員の寄付活動「もっとなにかで きるはず 基金」: ¥200,000</p>	継続的に限定販売予定
	3	<p>対象商品:フェアトレードフーズ促進イベント ・日時:2015 年11 月1 日 ・場所:横浜市大栈橋で開催された 「環境絵日記展」でセネガル、ラオス、 インドネシアの塩を紹介</p>	<p>来場者(6,000人)に積極的に、塩のテ イスティングを勧め、当社のフェア トレード活動をPR出来た。</p>	外部のイベントに 出展し、PR 活動を実施

(3)多様な人材	1	<p>【コンプライアンス教育の強化】 「腐敗防止」欄参照</p> <p>2015 年 11 月 5 日 「かながわ女性の活躍応援団団員」として 代表取締役社長執行役員 宮島和美が「行動宣言」を発表</p> <p>【目的】 女性の活躍を応援する機運を高めていくため、神奈川県ゆかりの深い企業の トップ 10 人と黒岩県知事が行動宣言を 発表。取組みを推進することで、ムーブメント の拡大を図る。</p> <p>【女性の活躍を応援する行動宣言】 私、宮島和美は、女性の活躍を一層 推進するため、次のことに取り組むことを宣言 します。</p> <p>1. 自社内における取組み</p> <p>女性・男性が支え合い、共に能力を 発揮できる働きやすい職場づくり推進 します。</p> <p>(1)女性のキャリア形成のための支援・女性管 理職比率の向上(2018 年度:50%を目指しま す)</p>	<p>・女性従業員比率:64%(管理職比率 33%) ・子育てのための時短勤務利用率: 94.2% ・障がい者雇用率:2.5% ・高齢者の従業員:30 名 ・外国籍の従業員:36 名 ※2014 年度実績 (2015 年度は、2016 年 4 月に 集計予定)</p> <p>12 月 21 日 平成 27 年度 「女性が輝く先進企業表彰」 内閣府特命担当大臣賞受賞</p> <p>[賞の概要] ・2014 年に内閣府が創設 ・自治体の他薦のみの応募/「神奈川 県」がファンケルを推薦 ・賞は、2 種/内閣総理大臣表彰(2 社)、 内閣府特命大臣表彰(5 社)</p> <p>[ファンケル受賞理由] ・女性従業員が中心となって製品開 発、宣伝、販促を担う ・女性の管理職比率が高い</p>	引き続き、 多様な人材の登用の実施
----------	---	--	--	----------------------

	<p>・女性の職域拡大(女性が専門知識を活かして活躍の場を広げられるよう、「マイスター職」「エキスパート職」を導入)</p> <p>(2)柔軟な働き方に対応した制度の導入・短時間勤務者(パート社員)の採用拡大(2018年度:570名5倍増を目指します)</p> <p>・様々な事情を抱える社員が活躍できる多様な働き方の導入(2015年度「在宅勤務」導入)</p> <p>(3)男性も育児に参加しやすい環境の推進・男性従業員の「配偶者出産支援休暇」取得率向上(「配偶者出産支援休暇」2018年度:100%取得を目指します)</p> <p>2. ムーブメント拡大のための取組み</p> <p>自社を起点にした社会的ムーブメント拡大を積極的に図ります。</p> <p>(1)国内関連企業7社に対し、上記1「女性・男性が支え合い、共に能力を発揮できる働きやすい職場づくり」を役員会などを通じて発信し、関連企業が一丸となって取り組むよう働きかけます。</p> <p>(2)また、各関連企業に対し女性の活躍のための「行動宣言」の作成と推進を呼びかけてまいります。</p>	<p>・有期雇用から正社員への登用数も増加</p> <p>・産休・育休等の人事データをHP等で情報開示が積極的</p>	
--	---	---	--

(4)障がい者
支援及び
その他の
社会貢献活
動

1

重度障がい者福祉施設「訪問の家」の支援活動から始まった活動が、代々の経営者に引き継がれ、従業員が積極的に参加できる風土、理念となって発展した社会貢献活動

開始	活動	詳細
1 1987年～	「訪問の家」との交流	お食事会、バザーなど
2 1988年～	ファンケルセミナー(メイク、健康)	年間140回
3 1998年～	タッチマークシール	
4 2007年～	もっと何かできるはず基金	従業員参加率:89% 寄付累計額:39百万円 寄付団体:168か所
5 2008年～	お客様のポイント寄付	寄付累計額:31百万円 寄付人数:18千人 寄付団体:70か所
6 2011年～	被災地支援活動(ボランティア、寄付)	ボランティア 累計:138回,786名参加

【訪問の家】

① 10月25日(日)

「訪問の家 第6回愛・ひかりフェスタ」

(バザー)

従業員ボランティア 75 名参加

① 12月1日(月)

「訪問の家 お食事会」

従業員ボランティア 51 名参加

【ファンケルセミナー】

2015 年度セミナー実績

・実施総回数:137 回

・従業員参加人数:163名

・メイクセミナー:53回

・身だしなみセミナー:80 回

・健康セミナー:4回

・ポイント寄付総計 ¥ 5,078,222

内訳:お客様ポイント ¥ 4,078,222

ファンケル もっと基金 ¥ 1,000,000

・被災地支援:27 回

従業員 91 名参加

引き続き、
「地域とハンディキャップの方々と
交流」を方針に、活動を実施

<p>(5)その他</p> <p>【貧困への 取組み】</p>		<p>「ファンケル キッズベースボール」の開催</p> <p>用具不足に悩む国々にバット、グローブ、ボールなどを寄贈</p>	<p>【2015 年度実績】</p> <p>・開催日</p> <p>5月23日(土) 長野県長野市(308名参加)</p> <p>7月26日(日) 茨城県水戸市(347名参加)</p> <p>10月25日(日) 奈良県橿原市(401名参加)</p> <p>12月5日(土) 佐賀県佐賀市(352名参加)</p> <p>・寄贈国と寄贈点数</p> <p>8か国 1,837点</p> <p>① ガーナ</p> <p>② ブラジル</p> <p>③ リビア</p> <p>④ コスタリカ</p> <p>⑤ ルゼンチン</p> <p>⑥ ペルー</p> <p>⑦ ウガンダ</p> <p>⑧ ネパール</p>	
-------------------------------------	--	--	---	--

「労働基準」に関する活動報告

本年度の活動内容			結果及び評価	来年度の活動目標
ワークライフ バランス	1	契約社員から正社員への 雇用区分変更	ファンケルグループの契約社員 1,020 名のうち、123 名が正社員に登用	【2018 年度までの取り組み目標】 (1) 女性のキャリア形成のための支援 (2) 柔軟な働き方に対応した制度の導入 (3) 男性も育児に積極的に参加しやすい 職場環境の推進
	2	ファンケルでは、従業員の 仕事のオン・オフを重要視し 毎週月・水・金曜日を「NO 残業 デー」としている。 定時後の時間は、家族や友人と過 ごし、資格取得に時間を充てるな どの取り組みを推進している。ま た、さまざまな休暇制度を設け、働 きやすい環境を整えている。	平均月間時間外労働(一人あたり): 7.23 時間(前年度 7.43 時間) ・女性従業員比率:64%(管理職比率 33%) ・子育てのための時短勤務利用率:94.2% ・障がい者雇用率:2.5% ・高齢者の従業員:30 名 ・外国籍の従業員:36 名	・有休完全消化 ・残業の削減 ・育児休暇(特に男性社員)の 促進

「環境」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標
(1)環境啓発教育 (生物多様性)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 5 月 23 日 ・場所:道志の森 ・対象 2015 年度入社の新入社員 31 名 ・内容:生物多様性座学及び道志村水源林にて体験作業 ・講師:横浜市水道局 浄水部水源林管理所 所長 温井 浩徳氏 	<p>社会人 1 年目の環境の重要性の理解を高めることで、日々の業務へ活かせる基礎づくりに貢献</p> <p>2016 年度は、5 月 20 日に 25 期生(2016 年度入社)新入社員 25 名の環境研修を実施予定</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会期:2015 年 7 月 29 日～8 月 7 日(8 日間) ・内容:神奈川県環境インターンシップ ・対象:大学生 2 名(3 年生 1 名 1 年生 1 名) ・課題:社内ゴミ分別問題点の発表 	<p>学生への企業 PR 及びリクルートの促進となった。</p> <p>来年度は、インターンシップとしての受け入れではなく、環境を学ぶ学生の意向を受けた企業訪問ヒアリングなどに移行予定</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 12 月 21 日 ・講師:グリーン購入ネットワーク事務局 副理事長 深津 学治氏 ・内容:グリーン購入 ・参加:従業員 26 名 	<p>購買、企画、宣伝などさまざまな業務の参加者が受講。</p> <p>引き続き、全従業員に向けてのグリーン購入の重要性を訴え、各業務で取り入れられるような啓発を行うことで、実務への展開を目指す。</p>

(2)環境 PR 活動	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 6 月 20 日(準備 6/18、19) ・イベント名:「株主総会」 ・内容:株主総会内で使用する全電力を山梨県道志村からの CO2 吸収認証のカーボンオフセットで相殺 ・場所:横浜アリーナ 	来場者数:4,688 名 (うち株主様 4,319 名) 電気使用量:50,730kwh(6/18、19、20 の 3 日間) 排出 CO2:25.6t-CO2	毎年、カーボンオフセットを実施予定
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 8 月 3 日 ・横浜市水道局主催 打ち水イベント「YOKOHAMA Save The Water2015」参加 ・場所:横浜市桜木町駅前広場 7 月 29 日～8 月 7 日まで CSR 推進事務局で受け入れた環境インターシップ研修の一環で参加	横浜市民を対象に「水道、環境、森林」の 3 つの視点から「水」をテーマに開催されたイベントは、打ち水後の路面の温度差に改めて昔ながらの打ち水効果を実感したとともに、環境保全の大切さを再認識する機会となった	CSR 推進事務局環境の活動として、社内で参加ボランティアを募り、継続参加していきたい
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 8 月 21～23 日 ・イベント名:「ファンケルクラシック」 ・内容:環境ブースで「横浜市水道局ウィコップ協賛 横浜市の水源地 山梨県南都留郡道志村の自然保全活動」の紹介 ・場所:裾野カンツリー倶楽部 ・実施:CSR 推進事務局 (協力:横浜市水道局) 	弊社が取り組む独自の環境活動を社外 PR することで、経営方針を含む企業としての考え方を発信。会場では、森林の働きを体験するコーナーや打ち水体験を行い、森・林・水について、お子様からご年配の方まで興味を持っていただくことができた。	イベント退場者への環境 PR 活動や依頼セミナーを積極的に継続
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 8 月 18 日 ・内容:「日興証券子どもアドベンチャーわくわく体験」にて横浜市水道局との協働活動である横浜市の水源地、山梨県南都留郡道志村の自然保護活動をジオラマなどを使用して紹介 ・講師:CSR 推進事務局 ・受講者:横浜在住の小学生とご両親 40 名 	地元企業としての活動を市民のみなさんにご紹介する機会を得て、参加者の方から、「よりファンになった」などと嬉しいお声をいただくことができた。	

	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2015 年 8 月 27 日 ・内容:「2015 年日本パッケージングコンテスト」 	<p>「適正包装賞」受賞</p> <p>三菱樹脂(株)様との共同開発で、商品の密封性を保ち、品質保持感を高める技術で受賞</p>	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日時:2016 年 3 月 28 日 ・場所:経団連ホール ・内容:「生物多様性民間参画パートナーシップ 第 5 回会員会合 兼 2015 年度経団連自然保護協議会活動報告会」にて、商品における生物多様性の取り組み事例発表及びパネルディスカッション参加 ・発表者:CSR 推進事務局 	<p>来場者数:100 名</p> <p>弊社の環境への取り組みを発表する機会を与えていただくことで、PR にもなり、また弊社の遅れている活動に対しての勉強をさせていただくことが出来た。</p>	
(3)環境啓発活動	1	<p>「家庭でエコプログラム」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旨:CO2 削減においては、家庭こそがいちばん CO2 を削減すべきと着目した従業員とその家族を巻き込んだ施策 ・施策:半年に 1 度、総務省発表の家族人数別数値を下回れば達成とし、従業員ひとりにつき¥4,000 の褒賞金を贈り、家族には、ひとり増えるごとに¥2,000 の褒賞金を加算する。 また、アイデア賞を達成者の中から 5 名選出し、各 ¥10,000 を贈る。 	<p>達成者:2015 年度達成者 524 人 (前年度比較 63 人増) ファンケルグループ達成者内訳</p> <p>(株)ファンケル:119 人 (株)ファンケルヘルスサイエンス: 18 人 (株)ファンケル化粧品:10 人 (株)ファンケル美健:131 人 (株)ファンケル発芽玄米:12 人 (株)アテニア:12 人 (株)ファンケル保険サービス:1 名</p>	継続実施し、全国の店舗達成者の更なる拡大を目指す。

「腐敗防止」に関する活動報告

本年度の活動内容	結果及び評価	来年度の活動目標
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>コーポレート ガバナンス</p> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>1</p> </div> <div style="flex: 4;"> <p>《ガバナンスコードの整備》 ファンケルは、持続的な成長と 中長期的な企業価値 向上のために2015年6月1日よ り適用された「コーポ レートガバナンス・コード」の趣 旨・精神を尊重して、 コーポレートガバナンスの充実 に努めており、11月 30日に東京証券取引所への提 出が義務付けられて いる「コーポレートガバナンス報 告書」において開示 原則および未実施原則を記載、 開示した。</p> <p>①開示原則</p> <p>11原則</p> <p>原則1-4、原則1-7、原則 3-1、補充原則4-1①、原則4-8 原則4-9、補充原則4-11①、 原則4-11②、補充原則4-11③ 補充原則4-14②、原則5-1</p> <p>② 実施原則</p> <p>4原則</p> </div> </div>	<p>株主様をはじめ、すべてのステークホルダーから 信頼される企業となる基盤を示すことができた。</p>	<p>ガバナンスコードの Explain の 項目の再検討しガバナンス強化に 努める</p>

2	<p>《コンプライアンスの基準》</p> <p>① 従業員へコンプライアンス教育</p> <p>ファンケルグループでは、社内イントラネットによる情報発信から講義形式による教育まで、全従業員に対するコンプライアンス教育を実施しているが、2015年度から、法務と購買部門が協働で、より実践的な研修を教育部門ファンケル大学に提案し、実施。</p>	<p>【実施日及び参加人数】</p> <table><tr><th>実施日</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>6月25日（木）</td><td>13名</td></tr><tr><td>6月26日（金）</td><td>15名</td></tr><tr><td>12月2日（水）</td><td>25名</td></tr><tr><td>12月7日（月）</td><td>34名</td></tr></table>	実施日	参加人数	6月25日（木）	13名	6月26日（金）	15名	12月2日（水）	25名	12月7日（月）	34名	
	実施日	参加人数											
6月25日（木）	13名												
6月26日（金）	15名												
12月2日（水）	25名												
12月7日（月）	34名												
	<p>■2015年度実績報告</p> <p>【テーマ】</p> <p>単なる法律知識の理解ではなく、企画・制作の業務フローの中で必要となる法律をケーススタディを通じて理解する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・業務において必要な法律知識と会社のルールを理解する。・著作権法・商標法・下請法・個人情報保護・契約締結など業務フローの各場面で考慮すべき法律を把握することで、潜在的なリスクの低減を図る。	<p>新入社員・中途入社者の研修のテキストとしても活用され、従業員全員が携帯し、常に確認できる環境にある。</p>											

	<p>【対象者】 業務内容を考慮し、法務・購買部門が選出した部署の課長を含むメンバー</p> <p>【コンプライアンス手帳の活用】</p> <p>ファンケルグループの一員として守るべきルールを明らかにし、共通認識を持って行動するために「私のコンプライアンス行動基準手帳」を全従業員に配付。4コマ漫画とやさしい表記で、7分野・37テーマの考え方や行動をわかりやすく説明している。</p>		
--	--	--	--

	<p>② 法令順守</p> <p>お取引先さまとの共存共栄と公正で適正なお取引関係の維持を基本理念として、社長直轄の内部監査室がファンケルグループ各社における購買基本方針および下請法などの法令、コンプライアンスの遵守状況などを、<u>お取引先さまへのアンケートを通じて毎年モニタリングを実施。</u></p>	<p>※2015年は371社のお取引先さまにアンケートを送付し、現在集計中</p>	<p>取引先の先の問題を、現場に理解してもらう。</p> <p>目的でサプライチェーンセミナーをサイト別に実施したい。</p>												
	<p>アンケートに寄せられたご意見は、守秘を前提に社長自ら直接報告を受け、改善が必要な問題点などは、内部監査室が調査の上、関係部署への改善是正を実施している。また、内部監査室の責任者が、書面でのアンケートだけでなく直接お取引先さまを訪問させていただき、日ごろのお取引についてご意見を承る活動も実施している。</p>	<p>【2015年度 従業員安否確認実績】</p> <table><tr><th>実施日</th><th>実施時間</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>5月12日(火)</td><td>PM2:00</td><td>2,995名</td></tr><tr><td>10月19日(月)</td><td>PM2:00</td><td>3,059名</td></tr><tr><td>1月14日(木)</td><td>PM3:00</td><td>3,064名</td></tr></table>	実施日	実施時間	参加人数	5月12日(火)	PM2:00	2,995名	10月19日(月)	PM2:00	3,059名	1月14日(木)	PM3:00	3,064名	
実施日	実施時間	参加人数													
5月12日(火)	PM2:00	2,995名													
10月19日(月)	PM2:00	3,059名													
1月14日(木)	PM3:00	3,064名													

	<p>③ BCP(事業継続計画)の徹底</p> <p>ファンケルグループは、東日本大震災の教訓を踏まえ、事業へ大きな影響が予想される首都直下型地震の発生を想定し、事前に被害を最小限に留め、お客様へいち早く製品をお届けできるよう、2013年2月にBCP(事業継続計画)を策定し、その後も定期的な見直しを行っている。2010年から携帯電話・スマートフォンのメールを活用した安否確認システムを導入。グループ全拠点へ災害備蓄品(食料・トイレ・寝具・日用必需品)の完備をし、従業員が帰宅困難になった場合でも施設内で待機(宿泊)できる体制を整備している。</p>	<p>【2015 年度実績】</p> <p>9 月 1 日(火)11:00</p> <p>神奈川県下における 4 事業所、計約 1,000 名の従業員が参加</p>	
--	---	--	--

		<p>防災訓練 (かながわシェイクアウト実施)</p> <p>神奈川県主催の「かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)」に2013年より参加。社内だけでなく、家庭内においても災害時の初動の大切さを共有する事で、従業員の家族間の防災意識向上も図っている。</p>		
				<p>【2015 年度 まとめ】</p> <p>CSR や 10 原則への更なる理解を社内に広げるために、組織別の人権研修としてのエシカルセミナーや、環境研修として身近な防災準備から考える地球温暖化の影響など、業務に即したものと日常的な生活に即した問題をわかりやすく取り上げ、従業員に関心の高い勉強会の実現に向けた働きかけを積極的に行い、グローバル・コンパクト加盟企業としての活動に貢献したい。</p>

ステークホルダーへの COP 報告方法

自社の HP 内の CSR トピックスで、タイムリーに活動内容を紹介（下記のサイト例）

【グローバル・コンパクト取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/globalcompact/>

【CSR トピックス】<http://www.fancl.jp/csr/case/>

【人権取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/human/>

【コーポレートガバナンス】<http://www.fancl.jp/csr/governance/>